



〈37〉



北の城橋 (宮田村中越—駒ヶ根市東伊那)



天竜川の川幅が狭くなった宮田村と駒ヶ根市との間にあ
る渓谷「伊那峽」から上流に
約五百メートル、朱色に輝く

北の城橋がある。

つり橋としては、天竜川の最上流に架かる橋で長さ約六十メートル、幅約三メートル。たびたび水害に遭うため、渡船が使われていたが、一九二八(昭和三)年につり橋が架けられた。

現在の橋は、五八(昭和三十三)年七月の豪雨災害で崩落した後に修復された。

名前の由来は、宮田村中越にある中世の史跡「北の城」によるもので、信濃の橋百選にも選ばれている。

橋を車で渡ろうとすると、「五メートルを超える車両は通行できない」という標識が見えた。

板張りの狭い橋は、交互通行をしなければならぬが、交通量は多く、天竜川兩岸の住民の生活道路として利用されている。

橋の右岸には、北の城址公園があり、春になると、多くの桜が咲き誇る。天竜川が、ピンクの桜と朱色の橋に彩られる季節が待ち遠しい。

(札木良)

朱色に輝く住民の道